

令和5年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

資料 1 - 2 - 3

団体名(所管課名) 特定非営利活動法人にじの糸(男女共同参画推進センター)

事業名

まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識 Vol.2

事業の目的 市民が地域で自分らしく生き生きと過ごし、健康に暮らせるまちづくり

事業の目標

- (1)子どもにかかわる大人たちに、正しい性についての知識を届ける。
- (2)大人を通して、子ども達が正しい性の知識を得る機会を創出する。
- (3)子どもたちが性について知る機会や話す機会を持ち、信頼して話せる大人が身近にいる、安心して暮らせる地域をつくる。

該当する所に○をつけてください

項 目	評価の視点	評 価			評価理由など
		充分 できた	概ね できた	充分では なかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			両者で打ち合わせ後、所管課が協定書案を作成案を共有し確認後に協定書を締結しました。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small>	○			全3回の申込み者数は延べ1299名(前回より180名増)、オンデマンド講座の再生回数は1637回(前回より222回増)と大変好評でした。また、配布協力者により#つながるBOOK 5000部を市民に配布しました。
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。	○			オンデマンド配信のため、各自の都合で参加しやすかったとの感想を多くいただきました。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small>	○			市民への広報や収録のフォローなどを所管課にお願いし、とても助かりました。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			3回の連続講座の前には、講師を含めた打ち合わせを必ず行い、当日の流れを共有しました。Wi-Fiトラブルによる収録の延期もありましたが、配信スケジュールに余裕があったため、予定通りに配信することが出来ました。その他不明点などはメール等で連絡を取り合い、連携をはかりました。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。		○		配信なので参加者とのリアルタイムでの交流は出来ませんでしたでしたが、アンケートへの回答や#つながるBOOK送付後にSNS等で投稿により、つながりを持つことが出来ました。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	申請時からたくさんの方のフォローをしていただいたおかげで事業を成功させることが出来ました。団体のみでは小規模になりがちな事業をマッチングファンドにより協力体制が出来、安心して取り組むことが出来ました。多くの自治体で取り組むべきだと感じました。				

令和5年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) NPO法人にじの糸(人権政策・男女共同参画課)

事業名

「まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識 Vol.2」

事業の目的 市民が地域で自分らしく生き生きと過ごし、健康に暮らせるまちづくりを目的とする。

事業の目標
 (1)子どもにかかわる大人たちに、正しい性についての知識を届ける。
 (2)大人を通して、子どもたちが正しい性の知識を得る機会を創出する。
 (3)子どもたちが性について知る機会や話す機会を持ち、信頼して話せる大人が身近にいる、安心して暮らせる地域をつくる。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分 できた	概ね できた	充分では なかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			両者が共通の認識をもち、目的・目標を共有・設定することができた。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)	○			オンライン(オンデマンド動画配信)による実施により、延べ1,299人の方に参加いただくなど、広く啓発を行うことが出来た。
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。		○		行政や教育機関において更なる取り組みが求められる課題について、主体的に取り組む団体の姿を通して、市民活動の意義を広める機会となった。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)	○			セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの実現につながる、包括的性教育に関する啓発の重要性について、改めて認識した。今後も、このテーマに関する取り組みを継続していきたい。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			適切な情報交換のもと、常に共通の認識を持って事業に取り組むことができた。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。		○		共通の目的・目標の達成を目指し、協力して効果的に事業を遂行できた。今後も繋がりを持っていく。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	協働により、大きな事業効果を挙げられたと感じる。また、市民活動団体による取り組みの視点を学ぶことができた。				

様式第7号 (第11条関係)

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和6年3月28日

(あて先)

さいたま市長

所在地 埼玉県比企郡ときがわ町大字本郷343番地7

団体名 特定非営利活動法人にじの絲

代表者氏名 吉野 愛

令和5年5月8日付け市市市協第5-15号で交付決定の通知を受けた令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

1 交付決定額 金 220,000 円

2 精算額 金 211,401 円

3 事業実施報告書

4 事業収支計算書

5 添付書類

(1) 支出を証する書類

(2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料



令和5年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 にじの絲

事業名称	まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識 vol.2
実施期間	令和5年5月～令和6年3月
総事業費	263,702円（内訳は別添事業収支計算書参照）
内 助成金交付申請額	211,401円
事業の目的	<p>* 計画書の「1 現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください。</p> <p>子どもにかかわる大人たちが正しい性の知識を得ることで、性をタブーとせず、子ども達の性の悩みに寄り添うことが出来ます。</p> <p>また、適切な対応の仕方を学ぶことは、子どもの人権を守ることにもつながります。</p>
	事業の具体的な内容
	いつ 8月～12月
	どこで オンライン・オンデマンド配信
	だれに 教育関係者(学校・学童・フリースクール・塾等)、保護者
	なにを 性に関するオンライン講座の収録配信、つながるBOOK(性について学べる小冊子)※の配布(配布対象は、さいたま市内の学生)
	どうした ※つながるBOOKとは 産婦人科医・助産師等の専門家が、厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）を活用し制作した中高生向けの性教育パンフレット
	子どもにかかわる大人たちに必要な性の知識を届け、つながるBOOKを大人を通して子ども達に届けた。
	(詳細な内容) 別紙のとおり
	成果
	* 事業の結果を表す数値を記載ください(例：参加人数等)。
事業の実績	<p>第1回 高橋幸子さん 申し込み者数 377名 再生回数 648回</p> <p>第2回 古堂達也さん 申し込み者数 440名 再生回数 477回</p> <p>第3回 櫻井裕子さん 申し込み者数 482名 再生回数 512回</p> <p>#つながるBOOK 5000部配布(オンデマンド講座を受講したさいたま市在住の希望者に配布)</p>

	<p>効果</p> <p>* 事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。</p> <p>学校等での性教育実践や子ども達の実態や生の声を多く盛り込んだ講座内容だったため、前回よりさらに反響が大きかった。</p> <p>昨年より内容もアップデートされており、3回のオンデマンド配信連続講座を2年連続で行うことの価値を十分に届けることが出来た。</p> <p>前回より申し込み者数は180名の増加、再生回数は222回増加した。</p> <p>また、掲載内容の一部を更新した#つながるBOOKを印刷・配布することが出来、制作者及び配布協力者から喜びの声が届いた。</p>
事業の評価	<p>* 事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>SNS発信でのPRに加えて、前回参加者の拡散による集客も見込めたため、申込みや再生回数は想定以上だった。</p> <p>前回のアンケート結果と申し込みフォームへの事前質問を踏まえた講座内容を講師に依頼すること出来、参加者のニーズに沿うことが出来た。</p> <p>にじの糸の活動紹介動画は、会員の確保にはつながらなかった。</p> <p>前回の経験を生かし、動画の編集作業や#つながるBOOKの発送作業はスムーズに行うことが出来た。</p>
今後の展開	<p>* この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？</p> <p>* 翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>性に関するオンライン・オンデマンド配信の講座は、今後も継続して行う必要性を感じています。</p> <p>自主財源の確保は課題ですが、他団体の助成金応募や参加費の有料化などを視野に入れ検討しています。</p>

事業の内容		
実施時期	労力換算 番号	実施内容
2023/5/30	5	第1回 講師 高橋幸子さん ミーティング
2023/6/6	6	第2回 講師 古堂達也さん ミーティング
2023/6/6		イベントページ作成、およびSNS等での告知開始
2023/6/11		イベントチラシ印刷、および配布開始
2023/6/30	1	第1回 高橋幸子さん講座 収録
2023/7/14	2	第2回 講師 古堂達也さん 収録①
2023/8/7	7	第3回 講師 櫻井裕子さん ミーティング
2023/8/7		第1回 高橋幸子さん講座 申込み〆切
2023/8/10		第1回 高橋幸子さん講座 配信開始
2023/8/24	2	第2回 講師 古堂達也さん 収録②
2023/9/4		第2回 古堂達也さん講座 申込み〆切
2023/9/7		第2回 古堂達也さん講座 配信開始
2023/9/11	3	第3回 櫻井裕子さん講座 収録
2023/10/2		第3回 櫻井裕子さん講座 申込み〆切
2023/10/5		第3回 櫻井裕子さん講座 配信開始
2023/10/26	8	反省会
2023/12/7		#つながるBOOKの印刷
2023/12/11	4	#つながるBOOK配布分の仕分け作業 発送作業の実施
2024/3/19		次年度に向けた打ち合わせ

第1回 月経・妊娠・性感染症編
産婦人科医 高橋幸子さん



収録しました!!

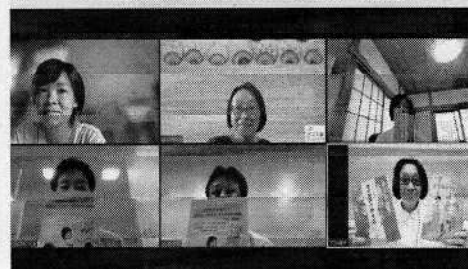
第2回 性の多様性編 講師:古堂達也さん



まず大人が知ろう!
自分らしく生きていくための性の知識
Vol.2

講師 櫻井裕子さん

第3回 恋愛編・SEX編



最終回 収録しました 🐾

<参加者アンケートより>

避妊、中絶の方法の最新のところで知らないこともあったので勉強になりました。
また、ポジティブな性教育がこれからの子どもたちにとっても影響を与えると聞いていて感じました。
月経やどんなときに受診すべきかを知っておくことは、児童への説明にも役に立つと思う。
実際の事例や講座中の生徒さんの様子が分かり、とても参考になりました。
LGBTQを理解するのではなく、シスジェンダーやヘテロセクシュアルと含めた性の多様性について学ぶことが大切、というお話が非常に勉強になりました。
学校現場における困りごとや職員の対応が参考になりました。
高校生の感想や先生方のリアルな質問と感想がとても印象に残ったのと、まだまだ性教育で必要な情報を知らない人が乗り越えるべき課題があるなと感じました。
中高生が大人にどのような性の相談をしてくるのか、事例をいくつも挙げてもらって勉強になりました。
子ども達の相談に乗る上で「一方的にならない、正論だけを言わない」というポイントが印象的でした。

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	263,702
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d)と同額	52,301
団体の自己資金	① 自己資金		52,301
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c)と同額	211,401

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	263,702
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	講師謝金3名分	90,000
	② 印刷製本費	つながるBOOK5000部印刷費、講座 チラシA4両面カラー4000部 計 141,767円のうち助成金充当分	121,401
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b)と同額	211,401
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 使用料	会場使用料5000円×2日	10,000
	⑫ 役務費 (通信運搬費等)	つながるBOOK送料	21,935
	⑬ 印刷製本費	つながるBOOK5000部印刷費、講座 チラシA4両面カラー4000部 計 141,767円のうち助成金を上回る分	20,366
	⑭		
助成対象外 経費	事業に附随して 必要な経費 [(c)の10%以内]	⑮	
		⑯	
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑰	
		⑱	
⑲			
⑳			
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑳の合計 (a)と同額	52,301

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。